



～ スマホ・タブレットのバッテリー”の誤解 ～
寿命を延ばすコツ

「バッテリーは切れるまで使い続けたほうがいい」は実は間違い。

リチウムイオン時代が始まる前は、ニッケルベースのバッテリーが主流だった。ニッケルカドミウム電池やニッケル水素電池は、最大容量を修正するために定期的に完全放電する必要があった。だがこうした効果はリチウムイオン電池には当てはまりません。

スマートフォンやタブレットを使っていない時は、電源コンセントが近くにあれば、電源コンセントにつないでおくほうがいい。

ノートPCの場合は、使用していないときだけでなく、電源コードが邪魔にならないのであれば、使用しているときも電源コンセントにつないでおくといい。

毎回100%までフル充電する必要はない。電源コンセントが近くにあれば充電するということが重要。

参考サイト：<http://medi-plaza.com/news/1911.html>